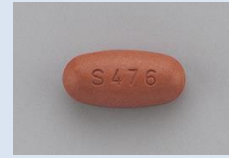


炎症性腸疾患に対する新薬の特集

第1弾 リアルダ®



錠剤の大きさ 20.7×9.7mm

第一弾として今回は昨年11月末に発売となったリアルダ®について紹介します。

リアルダ®はペンタサ®、アサコール®に続く潰瘍性大腸炎に適応を持つメサラジン製剤です。メサラジン製剤は、有効成分であるメサラジンが病変部位である大腸粘膜で作用して炎症を抑制すると考えられており、その治療効果は大腸粘膜中濃度と相関すると報告されています。メサラジンはそのまま経口投与すると速やかに上部消化管で吸収されるため、上部消化管でのメサラジンの吸収を抑制し、大腸に効率的にメサラジンを送達するよう工夫した経口剤が開発されています。

その中でリアルダ®は、親水性基剤と親油性基剤とからなるマルチマトリックス中にメサラジンを分散させた素錠部に、胃液で溶けないpH応答性のフィルムをコーティングし大腸全域に薬物伝達を可能とした製剤です。胃内および小腸部付近でのメサラジンの放出は抑制され、大腸付近へ移行した時点で、まずフィルムが溶解します。その後、素錠部分に腸液が侵入すると親水性基剤がゲル化して膨潤し緩やかにメサラジンを放出させます。さらに、親油性基剤が腸液の侵入を抑えて錠剤が一気に崩壊するのを防ぐことで放出はより緩やかとなり、持続的にメサラジンが大腸全域に放出される仕組みとなっています。

一番の特徴は**1日1回**の服用で済むことです。また、国内で承認されているメサラジン製剤として、最大の用量4,800mgまで使用可能になっています（ペンタサ®：4,000mg、アサコール®：3,600mg）。2006年12月にオランダで承認されて以来、海外では37ヶ国で使用されています（2017年6月時点）。本邦ではまだ新薬の投与日数制限を受けるので、平成29年11月末までは14日分しか処方できませんが、もし潰瘍性大腸炎の方で悪くなった時には主治医の先生とよく相談してリアルダ®も治療の候補の一つとして考えても良いかもしれません。

次回はゼンタコート®について紹介させていただきます。

(文責：佐上晋太郎)